

農林水産商工常任委員会資料

(平成26年8月21日)

項 目

- 1 平林金属株式会社及び有限会社海老田金属による境港市へのリサイクル
関連施設の立地に係る調印式について
..... 1ページ
- 2 平成26年度第1・四半期各事業実績について
..... 3ページ
- 3 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
..... 4ページ

企 業 局

平林金属株式会社及び有限会社海老田金属による境港市へのリサイクル関連施設の立地に係る調印式について

平成26年8月21日
立地戦略課
空港港湾課
企業

平林金属株式会社（本社：岡山県）及び有限会社海老田金属（本社：米子市）は、昭和工業団地（鳥取県企業局及び境港管理組合用地・境港市昭和町）において、リサイクルポートを活用した鉄・非鉄金属等のリサイクル工場を建設、両者が事業連携してリサイクル事業を実施することとなり、これを支援する鳥取県・境港市との間で、下記のとおり協定書調印式を実施いたしました。なお、今回の分譲により昭和工業団地は完売となります。

記

1 企業（平林金属株式会社）の概要

- (1) 名称 平林金属株式会社
- (2) 本社所在地 岡山県岡山市北区下中野347-104（岡山工場他4工場（山陰工場（H15年設置、米子市旗ヶ崎含む））、2営業所、物流センター）
- (3) 代表者 代表取締役社長 平林 実
- (4) 事業内容 金属全般及び使用済み家電・自動車等のリサイクル事業
- (5) 資本金 99,800千円
- (6) 従業員数 283人（平成26年4月現在）
- (7) 売上高 184億2,000万円（平成25年）
- (8) 今後の事業見通し リサイクルポート等を活用したアジア圏への輸出を検討

2 企業（有限会社海老田金属）の概要

- (1) 名称 有限会社海老田金属
- (2) 本社所在地 鳥取県米子市上福原1329-13
- (3) 代表者 代表取締役社長 海老田 英美
- (4) 事業内容 金属・非鉄金属・古紙類及び家電等のリサイクル事業（その他、社会福祉事業、障害者就労支援施設等を事業展開）
- (5) 資本金 23,000千円
- (6) 従業員数 40人
- (7) 今後の事業見通し アジア圏への輸出における出荷ヤードとしての物流拠点化を検討

3 立地計画の概要

両者が工場を鳥取県境港市昭和町（昭和工業団地）へ建設し、リサイクル事業（小型家電リサイクル等）を連携して実施する。

<平林金属株事業計画>

- (1) 工場名 : 平林金属(株)境港工場(仮称)
- (2) 事業概要 : 鉄・非鉄・小型家電・使用済み自動車等の再資源化事業
- (3) 投資額 : 21億円
- (4) 雇用計画 : 30名程度(全て正規雇用を予定)
- (5) 操業時期 : 平成29年10月頃

<(有)海老田金属事業計画>

- (1) 工場名 : (有)海老田金属
- (2) 事業概要 : 金属・非鉄・古紙類のリサイクル
- (3) 投資額 : 5.8億円
- (4) 雇用計画 : 10名程度(全て正規雇用を予定)
- (5) 操業時期 : 平成27年4月



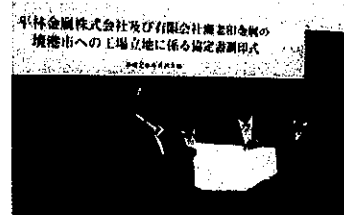
4 企業立地支援の見込み

相手方	区分	鳥取県	境港市	合計
平林金属(株)	企業立地事業補助金	420,000千円	100,000千円	520,000千円
(有)海老田金属	企業立地事業補助金	87,000千円	29,000千円	116,000千円

(※その他：正規雇用奨励金による支援予定)

5 調印式

- (1) 日時 平成26年8月8日(金)午後2時30分から午後3時20分まで
- (2) 場所 知事公邸 第1応接室(鳥取市東町一丁目133)
- (3) 出席者 平林金属株式会社 代表取締役社長 平林 実
有限会社海老田金属 代表取締役会長 海老田 耕三
鳥取県 知事 平井 伸治
境港市 市長 中村 勝治



協 定 書

平林金属株式会社（以下「甲」という。）、有限会社海老田金属（以下「乙」という。）、鳥取県（以下「丙」という。）及び境港市（以下「丁」という。）は、甲及び乙の境港市への工場立地について次のとおり協定する。

第1条 甲及び乙は、別紙1のとおり境港市に工場を設置するものとする。

第2条 丙及び丁は、前条に定める工場の操業が支障なく円滑に行われるよう、誠意をもって協力するものとする。

第3条 甲及び乙は、法令等の規定を遵守し、特に工場の運営等に当たっては、公害の発生防止と周辺環境の保全に努めるものとする。

第4条 甲及び乙は、従業員の採用に当たっては、境港市在住者の積極的な採用に努めるものとする。
2 丙及び丁は、甲及び乙の人材確保に当たっては、誠意をもって協力するものとする。

第5条 甲及び乙が別紙1のとおり境港市に工場を設置することに対し、丙及び丁は、別紙2に掲げる支援を行うものとする。

第6条 甲、乙、丙及び丁は、この協定に定める事業を実施する上で知り得た他の当事者の営業、人事、技術その他の業務上の機密（以下「機密情報」という。）を保持するものとし、第三者に開示し、又は漏えいしてはならない。ただし、機密情報を開示しようとする者があらかじめ書面により当該機密情報を保有する他の当事者の同意を得た場合は、この限りでない。

第7条 この協定に定める事項について疑義が生じたとき、及びこの協定に定めのない事項については、甲、乙、丙及び丁が協議して定めるものとする。

上記のとおり協定した証として、本書4通を作成し、甲、乙、丙及び丁がそれぞれ署名押印の上、各自その1通を保有し、信義を重んじ誠実にこの協定を履行するものとする。

平成26年8月8日

甲 岡山市北区下中野347-104 平林金属株式会社 代表取締役社長 平林 実
乙 鳥取県米子市上福原1329-13 有限会社海老田金属 代表取締役会長 海老田 耕三
丙 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地 鳥取県 鳥取県知事 平井 伸治
丁 鳥取県境港市上道町3000番地 境港市 境港市長 中村 勝治

(別紙1)

進 出 計 画 概 要

- | | |
|----------|--|
| 1 事業所の名称 | 平林金属株式会社境港工場（仮称）、有限会社海老田金属 |
| 2 所在地 | 鳥取県境港市昭和町105-1他 |
| 3 事業内容 | リサイクルポートを活用した、再資源化事業のための設備投資 |
| 4 操業開始 | 平林金属株式会社 平成29年10月（予定）
有限会社海老田金属 平成27年4月（予定） |
| 5 雇用計画 | 40名（予定） 平林金属株式会社 30名、有限会社海老田金属 10名 |

(別紙2)

- 鳥取県の支援
 - 鳥取県企業立地等事業助成条例（平成25年鳥取県条例第8号）に基づく支援
 - 働くぞ！頑張る企業を応援する鳥取県正規雇用創出奨励金支給要領（平成23年4月1日制定）に基づく支援
- 境港市の支援
 - 境港市企業立地の促進及び雇用の拡大に関する条例（平成20年境港市条例第34号）に基づく支援

平成26年度第1・四半期各事業実績について

平成26年8月21日
企業局経営企画課

1 電気事業

(1) 販売電力量

- 水力発電は、4・5月は融雪による流入が継続したことで目標を達成した発電所もあったが、全体的に雨量が平年に比べて少なかったため販売電力量は目標の94.0%となった。なお、対前年比では137.4%となった。
- 風力発電は、5月は風況に恵まれ目標を達成することができたが、4・6月が恵まれず有効な運転が行えなかったため、販売電力量は目標の86.9%、対前年比71.6%にとどまった。
- 太陽光発電は各地で天候に恵まれて目標の日射量が得られたため、販売電力量は目標の118.0%を達成した。

(単位:MWh)

区 分	平成26年度			平成25年度 実績(C)	対前年比 B/C	
	目標(A)	実績(B)	B/A			
水 力	第1四半期	43,543	40,938	94.0%	29,799	137.4%
風 力	第1四半期	1,165	1,012	86.9%	1,413	71.6%
太 陽 光	第1四半期	306	362	118.0%	51	709.8%
計(水力+風力)		44,708	41,950	93.8%	31,212	134.4%
合計(水力+風力+太陽光)		45,014	42,312	94.0%	31,263	135.3%

※太陽光発電は現在3ヶ所で運転中。平成25年8月までは1ヶ所分の実績。

(2) 販売電力収入

水力については目標の98.2%、風力は86.9%、太陽光は118.0%の販売電力収入となった。全体では目標の98.1%となり、対前年比114.5%となった。

(単位:千円)

区 分	平成26年度			平成25年度 実績(C)	対前年比 B/C	
	目標(A)	実績(B)	B/A			
水 力	第1四半期	451,063	442,785	98.2%	388,260	114.0%
風 力	第1四半期	24,002	20,851	86.9%	28,311	73.6%
太 陽 光	第1四半期	13,235	15,621	118.0%	2,122	736.1%
計(水力+風力)		475,065	463,636	97.6%	416,571	111.3%
合計(水力+風力+太陽光)		488,300	479,257	98.1%	418,693	114.5%

※水力発電(Fitを除く)は、基本料金が8割で従量料金が2割の定従比率。(総括原価方式)
※太陽光発電は現在3ヶ所で運転中。平成25年8月までは1ヶ所分の実績。

2 工業用水道事業

- 日野川工水の契約水量は前年と比べて500m3/日増の30,100m3/日、契約数は3社増えて83社となった。一方、鳥取地区工水は契約数が2社増えて12社となったものの、1,300m3/日の大幅減量があり、契約水量は6,200m3/日となった。

(1) 日野川工業用水道事業

区 分	平成26年度			平成25年度			調定額 対前年比 A/B
	契約水量 (m3/日)	契約数 (社)	調定額(A) (千円)	契約水量 (m3/日)	契約数 (社)	調定額(B) (千円)	
第1四半期	30,100	83	73,590	29,600	80	72,053	102.1%

(2) 鳥取地区工業用水道事業

区 分	平成26年度			平成25年度			調定額 対前年比 A/B
	契約水量 (m3/日)	契約数 (社)	調定額(A) (千円)	契約水量 (m3/日)	契約数 (社)	調定額(B) (千円)	
第1四半期	6,200	12	29,267	7,500	10	33,310	87.9%

3 埋立事業

(1) 新規長期貸付等 なし

(2) 一括即納売却、割賦販売、長期貸付の収入状況

(単位:千円)

区 分	一括即納売却	割賦販売	長期貸付	収 入 合 計
第1四半期	0 (0社)	4,123 (1社)	79,973 (9社)	84,096 (10社)

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】

平成26年8月21日
企業局工務課

工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	摘 要
佐治発電所水車発電機 分解点検組立工事	鳥取市 佐治町河本	富士電機株式会社中国支社 支社長 猫沖 誠一	129,600,000円 (予定価格) 130,934,880円	平成26年7月8日 ～ 平成27年1月30日	平成26年7月7日	制限付一般競争入札 (1社)